

# 教 員 個 人 調 書

履 歴 書			
フリガナ	フリガナ	性別	写 真
氏 名	○田 ○夫		
生年月日 (年齢)	1979年2月19日 (満41歳)		
現住所	〒000-0000 大阪府大東市3丁目1番1号		
連絡先	電話	e-mail	
学 歴			
年 月	事 項		
1997年4月	○○大学 ○○学部 ○○学科 入学		
2001年3月	○○大学 ○○学部 ○○学科 卒業		
2001年4月	○○大学大学院 ○○研究科 ○○専攻 博士前期課程 入学		
2003年3月	○○大学大学院 ○○研究科 ○○専攻 博士前期課程 修了		
2003年4月	○○大学大学院 ○○研究科 ○○専攻 博士後期課程 入学		
2006年3月	○○大学大学院 ○○研究科 ○○専攻 博士後期課程 単位取得後退学		
2007年3月	○○大学大学院 ○○研究科 ○○専攻 博士後期課程 博士 (○○) 学位取得 (第○○号) 論文題目「○○○○による○○○○に関する研究」		
職 歴			
年 月	事 項		
2006年4月	○○大学 ○○学部 ○○学科 助教		
2010年4月	△△大学 □□学部 □□学科 准教授 (現在に至る)		
学 会 およ び 社 会 に お け る 活 動 等			
現在所属している学会	日本○○学会、日本□□学会、△△△学会		
年 月	事 項		
2003年4月	日本○○学会会員 (現在に至る)		
2010年10月	全国○○協議会会員 (平成10年3月まで)		
2015年4月	・・・・・・・・		
賞 罰			
年 月	事 項		
2003年3月	日本○○学会 ◇◇◇賞 受賞		
2005年3月	・・・・・・・・		
2010年10月	・・・・・・・・		
現 在 の 職 務 の 状 況			
勤務先	職名	学部等または所属部局の名称	勤務状況
※※大学	教授	○○学部□□学科	××概論、□□特別演習、□□特別講義
2020年5月15日			上記のとおり相違ありません。
氏名			○田 ○夫 印

# 教育研究業績書

年 月 日  
氏名 印

研 究 分 野	研 究 内 容 の キ ー ワ ー ド
---------	---------------------

## 教育上の能力に関する事項

事 項	年 月	概 要
1 教育方法の実践例 ・授業アンケート結果による改善等 ・授業実践の特色や指導上の工夫、指導方針等	2015年4月	
2 作成した教科書、教材 ・〇〇講義における教材	2019年4月	学生用にプリントして配布
3 教育上の能力に関する大学等の評価 ・授業評価等の記載 ・自己点検・評価での評価結果		
4 実務の経験を有する者についての特記事項 ・公開講座・市民講座での内容等		
5 その他 ・〇〇教育委員会委員		

## 職務上の実績に関する事項

事 項	年 月	概 要
1 資格、免許		
2 特許等		
3 実務の経験を有する者についての特記事項 ・各種審議会・行政委員会等の委員 ・留学等 ・〇〇との共同研究 ・研究開発等の担当実績		
4 その他 ・実務家としての評価等		

## 研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月	発行所、発表雑誌等または発表学会等の名称	概 要
(著書) 1 〇〇工学概論	単著	2008年3月	大阪産業大学発行所	・・・について・・・を対象に発行したものである。わかりやすく全般的に解説した入門書である。
2 〇〇工学概論 2	共著 (3人)	2010年10月	大阪産業大学発行所	・・・について・・・を対象に、わかりやすく解説した入門書である。総著者数〇人、全〇章〇〇ページ。本人担当箇所：第2章「…」〇〇ほか計3人の共著 〇～〇ページ、第4章「…」単著、〇～〇ページ
(学術論文) 1 〇〇についての研究	共著 (3人)	2005年11月	大阪産業大学論集 第34号 p34～46	・・・について・・・実験して・・・を確認することができた。 産大太郎、段大五郎、産大花子 〇〇部分の執筆を担当
[その他] 1 ・・・についての一考察	単著	2006年6月	第18回〇〇学会 (大阪)	・・・についてまとめたものである。

## 教員個人調書 履歴書

1. この書類は、当該学部・研究科における採用・昇任等に係る教員について作成してください。
2. 「生年月日（年齢）」の欄について  
「生年月日（年齢）」の欄の年齢には、当該申請に係る時点の満年齢を記入してください。
3. 「学歴」の欄について
  - ① 大学若しくは高等専門学校またはこれらと同等以上と認められる学校卒業以上の学歴（大学の別科および専攻科を含む。）を有する場合、すべての学歴（授与された学位および称号を含む。）を記入し、それ以外の場合には、最終学歴を記入してください。なお、博士課程において所定の単位を取得し博士の学位を授与されないまま退学した場合には、「博士課程単位取得後退学」と記入してください。
  - ② 学位については、付記された専攻分野の名称および学位論文の題目を併記してください。
  - ③ 医師、歯科医師、薬剤師、看護師、教員等の資格についても記入してください。この場合、登録番号等も併記してください。外国における資格にあっては、正確に記入するとともに、その資格の内容を日本語で併記してください。
  - ④ 学生としての外国の大学や研究機関等への留学歴についても記入してください。
  - ⑤ 外国の大学等の経歴を記載する場合は、大学等の名称や学位等はアルファベットとカタカナを併記し、国名を必ず記載してください。職歴についても同様に扱ってください。
4. 「職歴」の欄について
  - ① すべての職歴（自営業、主婦、無職等を含む。）を記入するとともに、職名、地位等についても明記してください。
  - ② 学位については、付記された専攻分野の名称および学位論文の題目を併記してください。
  - ③ 研究者としての外国の大学や研究機関等への留学歴についても記入してください。
  - ④ 過去における教員組織審査において教員の資格があると認められた場合には、当該審査に係る 時期、大学の名称、職位および担当授業科目の名称（大学院にあっては、判定結果を含む。）を記入してください。また、過去における高等専門学校の教員資格の認定を受けた場合には、当該認定に係る時期、高等専門学校の名称、職位および担当授業科目の名称を記入してください。
  - ⑤ 大学教員の職歴については、主な担当授業科目を併記してください。
5. 「学会および社会における活動等」の欄について
  - ① 「現在所属している学会」には、申請時において所属する学会の名称を記入してください。
  - ② 学会および社会における活動等のうち、専攻や研究分野等に関連する事項を記入してください。
  - ③ 教育研究上の業績を有する場合、その内容を具体的に記入してください。
6. 「賞罰」の欄について  
「賞罰」の欄には、学会や出版社からの表彰や職務上の表彰や懲戒処分、研究費の不正受給に係わる処分等を記入してください。
7. 「現在の職務の状況」の欄について
  - ① 上段の「現在の職務の状況」の欄には、申請時現在における職務の状況について記入してください。
  - ② 「職名」については、大学等の教員の場合は、「教授」「准教授」等の職位を記入してください。それ以外の職に従事している場合は、「取締役」「理事」等の職名を記入してください。職名がない場合は「-」を記入してください。
  - ③ 勤務状況については、大学等の教員の場合は、担当授業科目を記入してください。それ以外の職に従事している場合は、職務の内容を簡潔に記入してください。
8. 「氏名」の欄の印は、本人の署名をもって代えることができます。

## 教員個人調書 教育研究業績書

1. この書類は、教員の担当授業科目に関連する教育上の能力に関する事項、職務上の実績に関する事項および主要な著書、学術論文等の業績について作成してください。
2. 「氏名」の欄について
  - ① 印は、本人の署名をもって代えることができます。(抜刷に添付するものはコピーで可)
  - ② 旧姓等の通称名を使用している場合は ( ) 書きで本名を併記してください。
3. 「研究分野」および「研究内容のキーワード」の欄について
  - ① 「研究分野」の欄には、科学研究費補助金の「系・分野・分科・細目表」の分科レベルの名称を用いて、研究分野の主なものを 3 つ以内で記入してください。「研究内容のキーワード」の欄には、同胞の細目を参考に、研究内容を表すキーワードを 5 つ以内で記入してください。なお、分科レベルに該当がない場合は、適宜記入して下さい。
4. 「教育上の能力に関する事項」および「職務上の実績に関する事項」の欄について
  - ① 「事項」の項には、各区分に該当する担当予定授業科目に関連する教育上の能力および職務上の実績に関する事項を過去から現在まで簡潔に記入してください。
  - ② 「年月日」の項には、該当事項に係る実施時期、発表時期、従事期間等を記入してください。
  - ③ 「概要」の項には、該当事項に係る内容の概要、当該活動における地位や役割、成果も記入してください。
  - ④ 「教育上の能力に関する事項」
    - ア 「1 教育方法の実践例」
      - ・ 実施している授業方法の特色、指導上の工夫、指導方針等
      - ・ 授業外における学習を促進する取り組み、授業内容のインターネット上での公開等
      - ・ 大学以外の教育機関における教育経験等
    - イ 「2 作成した教科書、教材」
      - ・ 授業や研修指導等で使用する著書、教材等
    - ウ 「3 教育上の能力に関する大学等の評価」
      - ・ 各大学における自己点検・評価での評価結果等
      - ・ 学生による授業評価、教員による相互評価等の結果等
    - エ 「4 実務の経験を有する者についての特記事項」
      - ・ 大学から受け入れた実習生等に対する指導等
      - ・ 大学の公開講座や社会教育講座における講師、シンポジウムにおける講演等
      - ・ 訴訟・審判・監査・与信・企業提携・研究開発等の専門的な実務に関する教育・研修等
    - オ 「5 その他」
      - ・ 大学教育に関する団体等における活動、教育実績に対する表彰等
      - ・ 国家試験問題の作成等
  - ⑤ 「職務上の実績に関する事項」
    - ア 「1 資格、免許」※自動車運転免許は除く
      - ・ 医師、歯科医師、薬剤師、看護師、教員等の資格で担当予定授業科目に関連するもの
    - イ 「2 特許等」
      - ・ 特許、実用新案等で授業・研究分野に関連するもの
    - ウ 「3 実務の経験を有する者についての特記事項」
      - ・ 共同研究等
      - ・ 訴訟・審判・監査・与信・企業提携・研究開発等の担当実績等
      - ・ 各種審議会・行政委員会、各種 ADR 等の委員等
      - ・ 行政機関における調査官等
      - ・ 研究会・ワークショップ等での報告や症例発表等
      - ・ 調査研究、留学、海外事情調査等

エ「4 その他」

- ・ 職能団体等からの実務家としての卓越性に関する評価・推薦等
- ・ 論文の引用実績等

5. 「研究業績等に関する事項」の欄について

① 「研究業績等に関する事項」には、書類の作成時において未発表のものは記入できません。

② 「著書、学術論文等の名称」の項について

ア 研究等に関連する主要な業績を、「(著書)」、「(学術論文)」、「(その他)」の項目に適当に区分し、各業績を発表順に通し番号を付して記入してください。

イ 著書については、書名を記入してください。共著書や第三者が編集した書籍に寄稿した場合にも本項には書名を記入し、担当部分の説明は「概要」の項に記入してください。

ウ 学術論文については、学術雑誌、学会機関紙、研究報告、紀要等に学術論文として発表したものの題名を記入してください。学位論文については、その旨を明記してください。

エ その他については、総説、学会抄録、依頼原稿等にあつては当該記事のタイトルを、報告発表、座談会、討論等にあつては当該テーマを記入してください。

③ 「単著・共著」の項には、当該著書等に記載された著作者が単独である場合には「単著」、著作者が複数いる場合には、監修、編集、編著、共著、部分執筆等の関わり方によらず「共著」と記入し、その人数を併記してください。

④ 「発行または発表の年月」の項には、当該著書等の発行または発表の年月を記入してください。

⑤ 「発行所、発表雑誌等または発表学会等の名称」の項について

ア 著書については、発行所を記入してください。

イ 学術論文等については、発表雑誌等の名称、巻・号、掲載ページ等を明記してください。

ウ 報告発表等の場合には、学会大会名、開催場所等を明記してください。

⑥ 「概要」の項について

ア 当該著書等の概要を 200 字程度で記入してください。

イ 当該著書等が共著の場合には、本人の担当部分の章、節、題名、掲載ページを記入するとともに、本人の氏名（下線を付すこと。）を含め著作者全員の氏名（多数にわたる場合は主要な共著者の氏名と著者総数）を当該著書等に記載された順に記入してください。共著書では、本人が担当した章や節等が共著の場合には本人の貢献度が分かるようにその章等の著者数などを記入してください。また、本人の担当部分の抽出に困難があるときは、その理由を記入してください。

ウ 研究業績等が他の研究業績等とほぼ同じ場合（たとえば学会報告後に同内容を学術論文として発表したような場合）には、本説明 5. ②アに示す通し番号に従って、「学術論文 3 に同じ」などと記入してください。

以上